

2021年2月3日

一般社団法人埼玉県バスケットボール協会

U15 カテゴリー登録 チーム代表者 様

一般社団法人埼玉県バスケットボール協会

U15 カテゴリー部会長 立花 正司

U15 カテゴリー部会 今後の事業について

日頃より、一般社団法人埼玉県バスケットボール協会およびU15 カテゴリー部会の事業へのご理解・ご協力をいただき、ありがとうございます。現在、緊急事態宣言下ではございますが、今後の展望としてあらかじめ皆様にお知らせしておきたい事がありご連絡をさせていただきました。別紙にて、内容をご確認いただきますようよろしくお願い致します。

連絡1 「2020U14リーグ」について

1月15日付で配信された「緊急事態宣言発令に伴う対応について（要請）」を受け、2020U14リーグは現在実施を見合わせております。2月2日に緊急事態宣言が延長され、3月7日までとなりました。そこで、開催時期を延期して実施することといたしました。

1. 期間は「3/27～5/31」とします。（緊急事態が3/7よりさらに延長した場合には変更あり）
2. ただし、選手の怪我や故障防止の観点から、「対外試合実施まで、選手のバスケットボール競技活動再開後4～6週間は期間を空けること」を優先とします。
3. チーム代表者は、以下の内容について再確認し、リーグ期間中いつから自チームが対外試合に参加するかを選手の実態（怪我や故障の防止を十分に踏まえ）に応じ、適切にご判断ください。

(ア) 1月15日付で登録全チームに配信されました「緊急事態宣言発令に伴う対応について（要請）」にもある通り、「JBA バスケットボール活動再開ガイドライン（第2版）」では、緊急事態宣言の対象地域は、「活動レベル1」で「特定警戒」の状態に当たり、チーム活動は「完全自粛（個人トレーニング可能）」とされています。これを受け、緊急事態宣言の対象地域である埼玉県内登録チームである皆様におかれましては、自粛要請に従い、チーム活動を自粛されていると思います。（部活動など、条件付きで活動が認められている団体はある）しかし選手は、学校において部活動を今現在も実施していたりする所があったり、市民体育館などを利用して少人数の個人トレーニングに励んでいるなど、地域によって個々の選手のバスケットボール競技活動再開状況は様々であるのが実態です。対外試合実施やリーグ戦参加については、JBA ガイドラインの活動再開ステップを参考とし「選手のバスケットボール競技活動再開後4～6週間」を目安に、所属する選手の実態に応じ、怪我や故障を防止する観点を第一に考え、無理なく適切な対外試合の設定時期をご判断ください。

年度をまたいで開催する際に生じる諸問題はございますが、選手の試合環境を提供したいという思いのもと、このような決定をさせていただきました。突然の延期となり、皆様には大変ご迷惑をおかけしますことを心からお詫び申し上げます。上記以外の今後の詳細や具体的な対応については、社会情勢に鑑み、決定次第速やかにメール・HPにてご案内させていただきます。子どもたちの競技環境を失わないためには、多くの皆様のお力添えが必要です。事業再開の際には何卒ご協力を賜りますようよろしくお願いいたします。

連絡2 「緊急事態宣言下における活動の制限」について

1月15日付で登録全チームに配信されました「緊急事態宣言発令に伴う対応について（要請）」を改めてご確認をお願いいたします。現在、県協会およびU15カテゴリー部会事務局にチーム活動に関する問い合わせを複数件いただいております。内容としては、チーム活動の制限についてのJBAおよび県協会の方針に関係するものです。各チーム責任者の皆様におかれましては、メール内容を今一度ご確認いただき適切に対処されますようご協力をお願いいたします。

連絡3 「次年度の事業」について

1月15日付で登録全チームに配信されました「2020U14リーグ戦について」の中で、「2021年4月から5月にかけて、県内全域を11ブロックに分けたトーナメント事業の開催準備をしております。年が明けてから詳しいことについては案内を出したいと思っておりますので、ご承知おきください。」とご案内をさせていただきました。現在の情勢に鑑み、「次年度（2021年度）の新たなトーナメント事業は行わず、再来年度（2022年度）より新たなトーナメント事業を実施する」と決定しました。これまで新たなトーナメント事業について、県事務局で実施する方向で検討をしておりましたが、次年度に開催することは現在のコロナ禍では適当でないと判断し、今回の結論に至りました。開催を期待されていた方々につきましては、ご期待に沿えない形になってしまったこととお詫び申し上げます。新たなトーナメント事業の内容については、メール・HPにてご案内させていただきます。

現在、未曾有の感染症が猛威を振るっており、明日がどうなるかもわからない毎日ではございますが、私共としましては、今しかない選手の環境整備に努めてまいりますので、今後ともご理解・ご協力をお願いいたします。チームの関係者の皆様におかれましては、コロナ禍において様々な面で大変ご苦勞なさっていることと思っておりますが、くれぐれもご自愛ください。